

2019年4月1日

会社名 富士製薬工業株式会社  
代表者 代表取締役社長 武政 栄治  
(コード番号 4554 東証第一部)

## 2019年 入社式 社長挨拶

当社は、本日、本社におきまして2019年の新入社員7名を迎えて、入社式を開催いたしました。当社社長の挨拶は以下の通りです。

### 【代表取締役社長 武政栄治 挨拶要旨】

入社おめでとうございます。

富士製薬工業グループを代表して心より歓迎申し上げます。

今年は平成最後の年になります。平成生まれである皆さんは初めて新しい元号を迎えると同時に、新しい社会人として、新しい富士製薬社員としての生活をスタートされます。皆さんにとって平成とはどのような時代であったでしょうか。一つ言えることは、この平成の間、生まれてから今日まで、たくさん成長をされてきたということだと思います。

当社は平成が始まった1989年当時、売上高にしておよそ30億円の会社でした。昨年9月期決算では約380億円となり、この平成の間に規模が10倍以上の大きさになりました。常に新しいこと、そして難しいことにも挑戦してきました。この「挑戦」は会社の成長にとって必要不可欠なものでした。

創業はジェネリック医薬品事業ですが、現在は新薬の開発・製造・販売や製造受託事業も手がけています。そして戦略領域を女性医療と急性期医療に定め、主力のX線造影剤分野ではジェネリック造影剤の国内のマーケットリーダーに、製造においては高品質な付加価値剤の製造に強みを持ったスペシャリティファーマとなりました。また、タイに子会社も保有しており、今年はこの子会社を中心に、同国での当社医薬品の販売に向け第一歩を踏み出しました。そして、今期は、グローバル展開をしている Alvogen グループと提携しました。いずれも新たな挑戦です。

話を元号に戻します。元号を改定する際には、「国民の理想としてふさわしいようなよい意味を持つものであること。」ということを経験にすると、昭和 54 年当時の内閣が決めたそうです。皆さんも一人ひとり、ご自分の理想を持っていると思います。会社では、理想で、守るべき基本的な指針で、かつ、社会の中で自らの存在意義ともなる、経営理念を定めます。当社では、「優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する」、「会社の成長は、私たちの成長に正比例する」という経営理念を定めています。皆さんにも、この理念を常に、持っていて欲しいと願っています。

平成の時代を過ごし、たくさんの挑戦をし、たくさんの失敗をしてきたのではないかと思います。富士製薬に入社されたあとも、理想を持ち、失敗をおそれず、たくさん挑戦をして、そしてたくさん成長をしてください。

最後に当社の創業家の思いをお伝えします。会社生活は楽しいことばかりではなく、辛いこともあるのが現実です。しかし、ここに出席している経営陣は、本日入社された皆さんも含め全社員を世界一幸せにしたいと誓い合って日々業務に励んでおります。大いにご活躍下さい。期待しております。

本日は本当におめでとうございました。

以上